社会科見学１　６年生　　１２月１３日（火）

今日は６年生の社会科見学で、国会議事堂、憲政記念館、東京国立博物館に行きました。

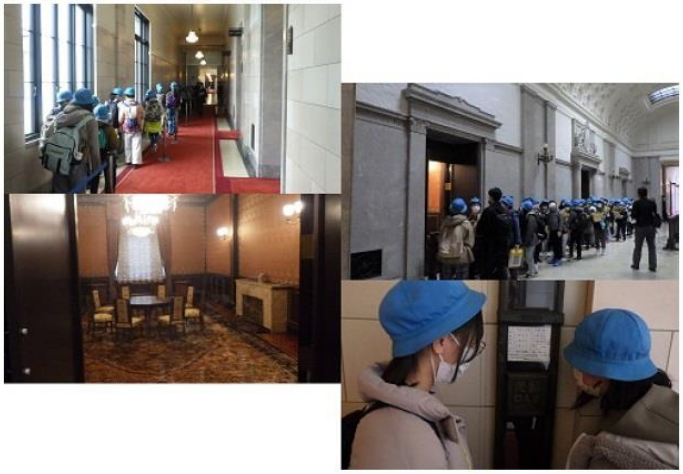
国会議事堂では、参議院を見学しました。この時間帯の見学は本校だけです。２０回ほど国会議事堂に来ていますが、いつも何十校も同じ時間帯に見学をしているので、とても驚きました。子どもたちは、普段は見られないホールの展示資料もゆっくり見ることができました。

社会科見学２　６年生　　１２月１３日（火）

国会議事堂内は、本会議場、御休所、中央広間等の施設を見て回りました。

はじめに本会議場に行きました。テレビや教科書で見た本会議場が目の前にあります。子どもたちは、傍聴席に座り、議場をはじめ議事堂内の説明について聞きました。説明を聞きながら、どの子も熱心にメモを取っていました。

社会科見学３　６年生　　１２月１３日（火）

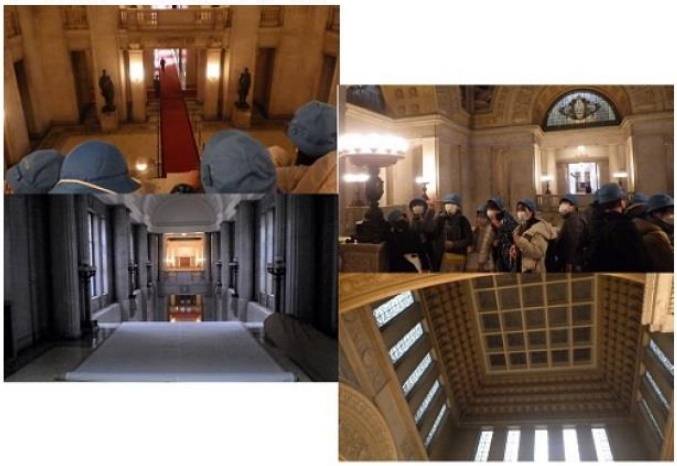


　国会議事堂に敷かれた赤い絨毯の上を、子どもたちは歩いて移動しました。この赤い絨毯は、全部の長さを足すと約４kmになるそうです。

　次に、国会議事堂の中央部にある天皇陛下の御休所に行きました。子どもたちは、華麗な造りの部屋の中をのぞき込みながら、その豪華さに驚いていました。

　途中、議事堂内にある郵便ポストを見付けました。普段、議員さんも使っているそうです。２階でも３階でも手紙を入れると１階まで落ちて、そこでまとめて集荷するそうです。子どもたちは、話を聞いてまじまじと郵便ポストを見ていました。

社会科見学４　６年生　　１２月１３日（火）



　中央広間に着きました。中央広間は、議事堂で一番高い中央塔の真下にあり、天井までの高さは３２．６２メートルあります。議会政治の基礎を作るために功労のあった板垣退助、大隈重信、伊藤博文の３人の銅像があります。子どもたちは興味深く３人の銅像を見ています。

　しかし、台座が４つあるのに、４つ目の台座には銅像がありません。これは、４人目を人選できず将来に持ち越されたと言われています。また、「政治に完成はない、未完の象徴」という意味もあると言われています。

社会科見学５　６年生　　１２月１３日（火）

　国会議事堂を出ると、敷地内にある４７都道府県の木が植えてある小道に行きました。子どもたちは、沖縄県のソテツから北海道のアカエゾマツまで、プレートを見てどの県が何の木か確かめながら歩いていました。ちなみに、東京はイチョウでした。
　最後に、国会議事堂をバックに写真を撮りました。

社会科見学６　６年生　　１２月１３日（火）

　２つ目の見学地は、国会議事堂のすぐ近くにある憲政記念館です。憲政記念館では、国会や憲政の歴史等について、展示資料や映像を見て学びました。館長さんが直々に、案内と説明をしてくださいました。ちょうど今歴史で学習している明治時代の頃の政治についても教えていただいたので、子どもたちの中で、学びがつながったと思います。
　また、国会議事堂の本会議場を再現したコーナーで、議場体験をしました。総理大臣や議長に立候補した子どもたちが、役割を果たして活躍しました。他の子どもたちも議員として参加し、模擬議決をしました。憲政記念館では、この議場体験が一番の人気で終わった後も、自分たちで体験していました。

社会科見学７　６年生　　１２月１３日（火）

　３つ目の見学地は、東京国立博物館です。館内では、子どもたちはグループ行動で、日本の歴史的文化財を見ました。埴輪や土器、戦国時代の鎧や刀、江戸時代の文化財等、子どもたちが学んだ歴史に関する物だけでもたくさんの所蔵物がありました。子どもたちは、じっくり解説を読みながら見たり、分かったことをメモにまとめたりしてしっかり見学していました。

　子どもたちに人気があったのは、スタンプを重ねて浮世絵版画の仕組みを学ぶ体験でした。スタンプを一つずつ押して重ねていき、東洲斎写楽筆「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」できあがると、子どもたちはとてもうれしそうでした。

　東京国立博物館での時間もあっという間に過ぎ、見学も終わりの時間となりました。集合場所に行くと、どのグループも時間通りに集まっていました。行動もしっかりしていました。

　国会議事堂、憲政記念館、東京国立博物館と３つの場所を巡りましたが、政治や歴史の授業で学習した場所や物等を見ることができ、大変充実した社会科見学になりました。